

# 防衛北海道

Bouei Hokkaido  
October 2014  
Hokkaido  
Defense Bureau  
Ministry of Defense



Vol.36



Photo : (上) 函館港に入港する護衛艦「あしがら」

(下左) 艦内見学・体験航海 (下右) 海上自衛隊大湊音楽隊(大湊)によるミニコンサート

(写真提供：海上自衛隊函館基地隊)

編集・発行 **防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会**

札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎

Tel.011-272-7579

<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



# 北海道防衛局幹部紹介

～7月25日付けの異動で北海道防衛局の幹部が交代しました。～

## 杉田新局長 着任挨拶

北海道防衛局長を拝命した杉田です。

九州防衛局での1年弱の勤務を経て、本年7月25日付けで北海道にまいりました。

北海道では平成8年に建築課長として1年余り勤務しており、再び北海道の地において仕事が出来ますことを大変うれしく思っております。

北海道には、わが国最大の演習場である矢臼別大演習場を始めとして、わが国の防衛力と日米安全保障体制を支えるための重要な防衛施設が数多く所在しており、昨年12月に決定された防衛計画の大綱においても、北海道の良好な訓練環境を一層活用し、より実践的な訓練・演習を実施するとされております。

北海道防衛局は、防衛力発揮のための基盤であるこれらの防衛施設の円滑かつ効果的な運用、安定的使用を確保するため、関係地方公共団体との緊密な協力の下、当該施設の周辺地域とのより一層の調和を図ることに取り組んでまいりました。

また、常日頃から自衛隊の活動を念頭に置き、側面からその活動を支援すると共に、その状況を広く北海道の皆様方に理解して頂くことも我々の使命の一つであると考えております。

国の防衛は、国家の最も基本的な施策であるとともに、国民一人ひとりによって支えられているものであり、自衛隊の活動も国民や社会の支援なくしては成り立ちません。

私も、この認識の下、地方における防衛行政の拠点として、近年の防衛行政を取り巻く社会情勢や環境の変化を踏まえ、地域の皆様方の理解を得つつ、その期待と信頼に応え得るよう、職員と共に力を尽くしてまいり所存ですので、引き続き皆様方の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



局長 杉田 宏一

## 新任の管理部長を御紹介します

### 管理部長 牧迫 俊明

7月25日付けの異動で管理部長を拝命しました牧迫です。

北海道勤務は初めてとなりますが、これまでに築き上げてきた当局と関係地方公共団体及び地域の皆様方との信頼関係をさらに強固なものにしていくため、努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



# 平成26年版防衛白書刊行

平成26年8月5日、閣議において「平成26年版防衛白書」が了承されました。防衛白書は、わが国防衛の基本について国民の理解を深めていただくため刊行しているもので、今回で刊行40回目となります。

今回の防衛白書は、一層厳しさを増すわが国を取り巻く安全保障環境や安全保障法制に係る閣議決定、国家安全保障戦略や新防衛大綱といった新たな安全保障・防衛政策、国際社会の平和と安定を維持するため防衛省・自衛隊が行っている様々な取組などについて、より多くの方々に分かり易くお伝えできるようにコラムや図表を充実させて紹介しています。

また、防衛省・自衛隊60周年及び刊行40回の節目を迎えることから、巻頭において、防衛省・自衛隊が創設された1954年から白書が初めて刊行された1970年までの歴史や防衛白書刊行の歴史に関する特集記事を掲載しています。

なお、平成26年版防衛白書は、一般の書店にて1冊1,234円（税込）で販売されているほか、防衛省・自衛隊のウェブサイトにおいても閲覧することができます。

今回の防衛白書が1人でも多くの方々にも読まれることを願っております。

- ◆防衛省・自衛隊HP <http://www.mod.go.jp/j/publication/wp/wp2014/pc/2014/index.html>
- ◆スマートフォン版 <http://www.mod.go.jp/j/publication/wp/wp2014/sp/index.html>



平成26年版防衛白書の表紙



スマートフォン版QRコード

## 矢臼別演習場において

# 米海兵隊実弾射撃移転訓練の支援を実施

陸上自衛隊矢臼別演習場で、沖縄県に駐留する米海兵隊による実弾射撃訓練が、8月24日から9月2日までの10日間実施されました。

この訓練は、沖縄県の負担軽減のために本土の5演習場において、分散・実施しているものであり、矢臼別演習場での訓練は、昨年に引き続き、14回目となりました。

今回の訓練部隊の規模は、人員約430名、車両約100両、155ミリりゅう弾砲12門です。

昨年は、155ミリりゅう弾が演習場外に着弾するという事故が発生し、周辺住民の方々及び地元自治体の方々に大変な御不安、御心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

北海道防衛局は、演習場内に現地対策本部を設置し、陸上自衛隊北部方面総監部等の協力を得て、

- ・米海兵隊、陸上自衛隊、関係自治体等との連絡・調整
- ・関係自治体等への情報提供、周辺住民の方々や報道機関等からの問い合わせに係る対応
- ・米海兵隊員及び装備品の輸送
- ・訓練実施に伴う物資等調達
- ・演習場各ゲートからの誤進入未然防止等に係る見回り

などの支援を行いました。

特に、今回は、昨年の演習場外着弾事故を踏まえ、実弾射撃訓練の安全かつ円滑な実施が最重要との認識のもと、現地対策本部の要員増や自治体との連絡調整に専従する職員の配置など、体制を強化して対応したところであり、8月17日に行われた現地対策本部開所式では、早坂茂紀本部長から職員に対し、特に情報の共有と迅速な対応及び安全管理について万全を期すよう指示がありました。



若狭厚岸町長を表敬するオーエンス中佐

8月22日には、訓練実施部隊指揮官の第12海兵連隊第3大隊長ネイル・オーエンス中佐が、在札幌米国領事館ジョエレン・ゴーク首席領事とともに、地元の別海町、厚岸町、浜中町、標茶町を表敬訪問しました。

オーエンス中佐は別海町で報道関係者からの取材に応じ、「りゅう弾の実弾射撃訓練の際の安全確保が我々の第一の懸案事項であり、安全対策の中に独立して副次的な確認作業を各段階で行い、正確に着弾するように安全を確保している。演習前に副次的な確認作業の重要性を各隊員に再認識させ訓練を繰り返してきた。」との発言がありました。



訓練説明会の様子

実弾射撃訓練に先立ち、米海兵隊は事前準備を行うとともに、陸上自衛隊と合同で消火体制の確認と消火訓練を実施し、野火等が発生した場合の迅速かつ適切な対応について確認しました。

8月23日には、本訓練について地元の皆様に御理解いただくために、自治体関係者及び報道関係者を対象とした訓練説明会を実施し、翌24日から本訓練を開始、訓練中の26日には、自治体関係者を対象とした訓練見学会を実施しました。

本訓練は、9月2日に、事故等もなく予備日を使用せずに、無事終了しました。これは、地元の皆様の御理解と御協力の賜であり、深く感謝申し上げます。

当局としては、今後も引き続き、訓練の実施に際し、適宜適切な情報提供に努めるなど、地元の皆様の御不安、御心配が解消されるよう最大限努力するとともに、訓練を安全かつ円滑に実施できるよう万全を期してまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。



実弾射撃訓練の様子 (H25撮影)

# より優れた品質の防衛施設取得に向けて ～優秀工事等に顕彰状贈呈～

6月25日に北海道防衛局、また、6月23日に帯広防衛支局において、優秀工事等の顕彰状贈呈式を実施しました。

本顕彰制度は、平成21年度から実施しており、北海道防衛局及び帯広防衛支局が発注した建設工事等に関し、工事等の目的物の出来形または品質が優れているものであって、他の模範とするにふさわしいものを優秀工事等として選定し、顕彰するものです。

北海道防衛局では、平成25年度に完成した建設工事から、厳しい気象条件の中、品質確保や安全対策に努め優れた出来映えの工事目的物を完成させたものなど4工事の受注者に沼尻邦男調達部長（当時）から顕彰状を贈呈しました。また、帯広防衛支局では、部隊が運用しながら改修工事を行うという制約された厳しい条件にもかかわらず、工程調整を綿密に行うことにより、部隊運用を妨げることなく工期を短縮し、優れた品質の確保・向上を図った1工事の受注者に大井敏光帯広支局長から顕彰状を贈呈しました。

顕彰を受賞した受注者の実績は、顕彰受賞後4年間、当局の総合評価方式による発注において、企業の技術力を評価する項目の一つとして評価点数を加算していきます。

当局としては、この顕彰制度を通じ、受注者の努力が見える形で評価できることで、豊富な経験や高い技術力を持つ企業の受注機会が増え、その結果として、より優れた品質の防衛施設を取得し、自衛隊等に提供できることを期待しています。

北海道防衛局及び帯広防衛支局は、今後とも受注者の方々が豊富な経験や技術力を遺憾なく発揮され、工事目的物の品質向上などに寄与して頂けるよう優秀工事等の顕彰を進めてまいります。

また、今回顕彰を受賞された受注者の皆様におかれましては、引き続き他の模範となる優秀な工事を目指していただけることを期待しております。



北海道防衛局 優秀工事等顕彰状受賞者



帯広防衛支局 優秀工事等顕彰状受賞者

## 顕彰状被贈呈者（敬称略）

			北海道防衛局	
対象工事	受注者		授賞者	
奥尻（23）隊庁舎新設建築その他工事	（株）森川組	〔函館市〕	代表取締役社長	森川 基嗣
奥尻（25）宿舎外壁等改修建築工事	（株）曲小倉工務店	〔函館市〕	代表取締役	小倉 正信
奥尻（23）隊庁舎新設機械その他工事	（株）ニシカワ産業	〔函館市〕	代表取締役	西川 清一
東千歳（23）構内道路整備工事	地崎道路（株）北海道支店	〔東京都〕	取締役支店長	千葉 立美

			帯広防衛支局	
対象工事	受注者		授賞者	
標津外（24補）通信施設改修等設備工事	高部電気（株）	〔中標津〕	代表取締役	高部 英男



奥尻 隊庁舎（外観）



奥尻 宿舎（外観）



東千歳 構内道路



標津外 通信施設

## 顕彰の選定基準等

優秀工事は、当該工事の成績評定点が、概ね80点以上で、以下のいずれかに該当するもの

- ① 困難な条件下にもかかわらず、工程管理や安全管理に優れ、工期内に工事目的物を完成させたもの
- ② 工事の実施に当たって、発注者や要求機関のニーズを的確に反映したもの
- ③ 新技術を取り入れ、品質向上に寄与するなど、先進的な姿勢が伺えるもの
- ④ 調達業務の円滑な遂行に協力又は援助があり、その功績が認められるもの
- ⑤ 地域に根ざし当該地域住民に信頼が置かれていること又は地域に精通していることにより円滑かつ良質な施工を行ったと認められるもの

優秀工事技術者は、以下の必要項目を満たすもの

- ① 優秀工事として顕彰された工事の現場代理人、主任技術者又は監理技術者であること
- ② 成績評定項目の配置技術者の評価が優秀であること

詳細につきましては、当局ホームページで公表しておりますので御覧ください。

※北海道防衛局ホームページ『優秀工事等の紹介』

<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



# 制限水域の設定と漁業補償への取り組み

## ～浜大樹訓練海面等における揚陸訓練実施～



浜大樹訓練海面の位置



浜大樹訓練海面（広尾郡大樹町地先52km<sup>2</sup>）及び浜大樹訓練場において、平成26年7月8日に中部方面隊第10師団（愛知県名古屋市）、翌日9日に北部方面隊第5旅団（帯広市）は、2隻のエアクッション艇（LCAC：Landing Craft Air Cushion）を用い、浜大樹訓練海面の沖合に停泊している海上自衛隊輸送艦「しもきた」に搭載された74式戦車等の車両や人員を海岸（浜大樹訓練場）まで輸送上陸させる訓練（揚陸訓練）を実施しました。

この揚陸訓練は、陸上自衛隊と海上自衛隊との協同連携及び揚陸要領の練度向上などに資する重要な訓練であり、LCACが輸送艦と海岸の間を数回往復し、そのたびに陸自・海自の隊員が連携して車両等を海岸に上陸させていきます。

中部方面隊第10師団司令部及び隷下部隊による揚陸訓練は、平成26年6月26日から同年7月25日に実施された陸上自衛隊の主要演習の一つである協同転地演習<sup>\*</sup>内での一連の訓練として実施したものです。

防衛省は、海などの水面を訓練等で使用するために、一定の水域について期間を定め漁船の操業を制限若しくは禁止又は漁業権等の行使制限等（制限水域の設定）を行うことがあります。北海道防衛局は、管内の制限水域について、その設定に関し漁業協同組合に協力の要請及び同意書を取り交わす等とともに、従来適法に漁業を営んでいた方々が漁業経営上に被った通常生ずべき損失について補償（漁業補償）を行っています。

当局は、平成26年4月に大樹、広尾及び大津各漁業協同組合との間で、この揚陸訓練を行いたい海面について、平成26年7月8日から同月10日までの3日間、全ての漁業の操業を禁止とする制限水域の設定に係る調整を図り、各漁業協同組合からの同意を得て、平成26年4月25日に各漁業協同組合及び関係自治体（北海道、大樹町、広尾町、豊頃町、浦幌町）等に対し漁業権等の行使制限等について正式に通知しました。

この制限水域の設定による損失について、当局は、従来適法に漁業を営んでいた方々から委任を受けた所属漁業協同組合長が提出する損失補償申請書を基に補償すべき損失の有無を調査し、補償すべき損失があると認められたものについて、算定基準により当該損失補償額（漁業補償額）を算定のうえ、当局長と当該組合長との間で損失補償契約書を交わし補償を行うこととなります。

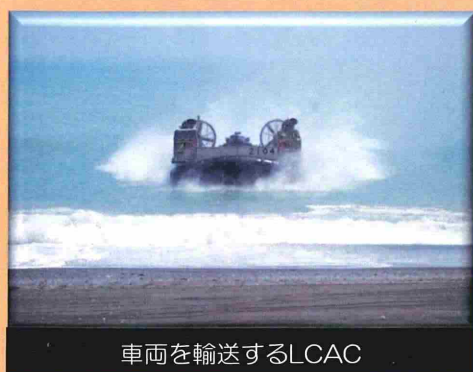
当局としては、全国の各自衛隊等による当局管内水域での訓練等に当たり、地元住民等の安全と良好な訓練海面を確保するため、今後も関係する地元漁業協同組合を始め自治体等と制限水域の設定等について御理解と御協力が得られるよう鋭意調整を図るとともに、適切な損失補償の実施に取り組んでまいります。

### LCACの災害派遣等での活躍

LCACは、水陸両用のホバークラフトとしての特性を生かし、災害派遣活動では人員や物資・車両等の輸送に活用されています。

主な災害派遣活動として、平成23年3月の東日本大震災（被災者を輸送艦に運び入浴を支援）、平成25年10月の東京都大島町での台風被災（車両等の輸送支援）、同年11月の国際緊急援助活動としてフィリピン（レイテ島）での台風被災（人員・物資の輸送支援）などがあります。

<sup>\*</sup>協同転地演習：自衛隊の保有する陸上、海上及び航空の各種輸送手段と民間の各種輸送手段を併用し、各方面区を移動することにより長距離機動能力の向上を図るとともに、転地先における訓練を実施し、方面隊の即応性の向上を図ることを目的とした演習



車両を輸送するLCAC



揚陸訓練中の74式戦車と隊員



上陸した74式戦車



## 陸上自衛隊 北部方面隊

### 「防衛副大臣旭川駐屯地を視察」 ～地域住民と意見交換も～

北部方面隊（總監：田邊揮司良陸将）は、8月5日、武田防衛副大臣（当時）の旭川駐屯地視察を受けるとともに、8月6日防衛省が主催する「車座ふるさとトーク」を旭川地方協力本部等をもって支援しました。

8月5日、副大臣は当初、旭川駐屯地を視察し、慰霊碑に献花した後、第2師団長、方面總監部幕僚長と懇談、次いで状況報告を受け司令部庁舎内を巡視しました。

隊内巡視では、司令部庁舎屋上において駐屯地全景を確認するとともに、庁舎前広場では北鎮第2師団が保有する最新鋭の装備品の展示・説明を受けました。

旭川駐屯地の視察の後、併設する北鎮記念館を視察し、約50分にわたり屯田兵、旧第7師団、現第2師団の各種資料を見学するとともに係からの説明に耳を傾けていました。

また、6日実施された副大臣主催の「車座ふるさとトーク」では、旭川市内のフィール旭川7階会議室で、学校関係者及び自治体職員等の市民14名と副大臣のフリートークが行われました。「北海道地域の『守り』をどうするか？」をテーマとして副大臣から市民に対し、防衛政策について説明するとともに、災害派遣隊員のケアや厳しい募集環境などに関する市民からの質問に対しては副大臣が丁寧に回答する等、市民の防衛に関する理解を深めるとともに、貴重な意見を聴く機会となりました。



司令部庁舎から旭川駐屯地全景を視察



装備品の視察



副大臣主催の「車座ふるさとトーク」の様子 副大臣（左、右）中央、（中央）右から1人目

### 「第66回さっぽろ雪まつり 札幌市より協力要請」

北部方面隊（總監：田邊揮司良陸将）は、8月5日方面總監部において、第66回さっぽろ雪まつりへの協力要請を札幌市長より受け、受理しました。總監部応接室において、上田札幌市長から田邊總監に対して要請書が手交され、その後、懇談が行われました。

方面隊は、今年度の雪まつりで、大雪像2基の制作を担当します。

昨年度行われた第65回さっぽろ雪まつりでは、約240万人が会場を訪れ、過去3番目の観客数となるとともに、アジアの各国を中心とした外国人観光客の増加も目立ちました。

毎年、200万人以上が訪れるさっぽろ雪まつりへの雪像制作協力は、昭和30年の第6回から現在に至っています。例年、約1ヶ月間かけての大雪像制作及び雪輸送等の支援に多数の隊員を動員しており、方面隊による協力はさっぽろ雪まつりの開催に欠かせない存在となっています。

方面隊は、任務遂行に必要な訓練の実施と支援の折衷を図りつつ、今後も、さっぽろ雪まつりの開催に必要な協力を実施し、地域との連携強化を深めてまいります。



上田札幌市長から要請書を受け取る  
田邊北部方面總監

## 海上自衛隊 函館基地隊 ～花火大会で一般開放～



8月1日（金）に函館開港155周年記念函館港まつり協賛「第59回北海道新聞社花火大会」（北海道新聞社主催）が行われました。この花火大会は、函館市内で最も知名度の高い花火大会の一つで、趣向を凝らした創作花火を名曲に乗せて繰り広げるファンタジスタ花火等、様々な花火が打ち上がる5部からなるプログラムで構成され、「函館港まつり」初日の夜空を華やかに彩りました。

函館基地隊（司令：五島浩司1等海佐（当時））では、毎年、この花火大会の観覧場所として絶好のロケーションである同基地構内を一般開放し、市民の方々などに函館港の海面を彩る大輪が一体となった夜空のショーを楽しんでいただいています。

今年は、天候にも恵まれ、招待者399名、市民の方々685名、併せて1,084人の来場者が訪れました。

次々と打ちあがる花火に拍手と歓声が沸き上がり、花火大会は大盛況のうちに終わりました。

五島司令は「同花火大会を通じて市民との交流を深め、地域社会との融和を図り、防衛基盤の育成に努めたい。」と述べました。



基地構内から見る華やかな花火



基地構内の様子



基地正門から見る華やかな花火

## 航空自衛隊 網走分屯基地 ～第28警戒隊の紹介～



網走分屯基地（網走市）に所在する第28警戒隊（司令：岡一郎2等空佐）は、全国を4つに区分したうちの北部を担当する北部航空警戒管制団の隷下部隊の一つです。主な任務は、警戒管制レーダーにより領空に接近する航空機を探知することで、365日24時間休むことなく警戒監視にあたっています。

網走分屯基地の歴史は、米空軍が昭和27年4月オホーツク海に突き出す能取岬に展開、翌年3月現地に移転したことから始まります。昭和30年5月に航空自衛隊が展開し、昭和33年7月には米空軍から航空自衛隊に任務が全面移管されました。その後、部隊が増減し、平成14年からは第28警戒隊だけが所在しています。

第28警戒隊は網走国定公園内の能取山山頂（標高262m）に所在しています。国定公園の中にあるのは航空自衛隊でも大変珍しいことです。

第28警戒隊は、あばしりオホーツク夏祭り、あばしりオホーツク流氷祭り等、地元で開催されるイベントに積極的に参加しています。また、市内小学校の防災訓練を支援したり、CH-47Jの体験搭乗を催したりして、地域住民の皆様との交流を大切にしています。

来年は、昭和30年の空自部隊展開から記念すべき分屯基地創設60周年を迎えます。航空自衛隊に関する理解を深めていただくため、創意工夫を凝らし皆様をお出迎えしたいと思いますので、是非、開庁記念行事にお越し下さい。



あばしりオホーツク夏祭り

あばしりオホーツク流氷祭り

市内小学校の防災訓練支援の様子

CH-47Jの体験搭乗

# 支局だより・事務所だより

## 〇千歳防衛事務所

### ～千歳基地航空祭～

平成26年8月3日、航空自衛隊千歳基地（千歳市平和）において航空祭が開催されました。千歳基地の航空祭は、千歳の夏の一大イベントであり、一般開放された千歳基地には今年もたくさんの市民や道内の航空ファンが訪れました。会場では、戦闘機やヘリコプターなど様々な航空機の地上展示や北部航空音楽隊による演奏会が行われたほか、米空軍三沢基地所属のF16戦闘機によるアクロバット飛行や、航空自衛隊松島基地所属のアクロバットチーム「ブルーインパルス」による編隊飛行などが披露され、約62,000人の来場者を楽しませました。



ブルーインパルスの展示風景

この日は上空に雲が低く垂れ込む天候であったため、F15戦闘機の機動飛行が中止となったり、ブルーインパルスの展示飛行の内容が大幅に変わるなど航空ショーは予定変更が相次ぎましたが、会場内の展示等のイベントが行われているところは多くの来場者で終始賑わっていました。



広報ブースでの一コマ

北海道防衛局では、防衛省の政策及び施策について広く皆様の御理解をいただくため、各種イベントにおいて広報誌「防衛北海道」や各種パンフレットを配布しています。当日も、会場の一角に設置した防衛省の広報ブースにおいて、防衛省のロゴ入りの青いスタッフジャンパーを着た北海道防衛局及び千歳防衛事務所の職員が広報誌等を配布しました。用意した広報誌等が全てなくなるほど大変多くの方々に立ち寄りいただきました。

千歳防衛事務所は、今後も、防衛省・自衛隊の取り組みを一人でも多くの方々に知っていただけるような活動を行ってまいりたいと考えています。

## 北海道内の防衛施設

### 道場巡り

前号で最終回となった「道場巡り」は、日頃なかなか目に触れることの少ない北海道内の自衛隊演習場等について御紹介してきました。長い間御愛読ありがとうございました。「道場巡り」については、北海道防衛局ホームページ『広報誌』に掲載していますので、是非御覧下さい。<http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/hosp/>

広報誌掲載号	演習場等名	タイトル	所在市町村
25. 2月号	鬼志別演習場	日本最北の道場	猿払村
25. 4月号	別海駐屯地、矢臼別演習場	日本最大の道場	別海町
25. 6月号	技本 札幌試験場	国内最高レベルの空力推進施設	千歳市
25. 8月号	天塩訓練場	道内唯一の水際訓練道場	天塩町
25. 10月号	上富良野駐屯地、上富良野演習場	北海道のへそ	上富良野町
25. 12月号	鹿追駐屯地、然別演習場	第5旅団の中核道場	鹿追町
26. 2月号	静内駐屯地、静内対空射撃場	日本最大長射程対空射撃道場	新ひだか町
26. 4月号	北大演（恵庭・島松・着弾地）	部隊の名誉をかけ、日頃の訓練成果を発揮する場	恵庭市
26. 6月号	幌別駐屯地、来馬演習場	部隊の礎、第13施設隊の道場	登別市
26. 8月号	駒ヶ岳演習場	蝦夷駒ヶ岳の麓の道場	鹿部町



## 防衛施設歴史散歩

## 新シリーズ！

本号からスタートする「防衛施設歴史散歩」は、北海道内の駐屯地等が所有する史料等を展示している史料館・記念館にスポットを当て連載していきます。

史料館・記念館も日頃なかなか目に触れることの少ない防衛施設の一つですが、展示品は、駐屯地等の歴史を紐解く史料以外にも、歴史的価値の高いもの、話題性のあるもの、マニア必見の逸品などが多数展示されています。そのうえ、ほとんどの館が無料で一般公開されている知られざるお宝館とも言えます。

本連載では、北海道内の主な史料館・記念館を巡り、駐屯地及び史料館・記念館の由来等や展示品などを御紹介していきます。各館ごとの工夫を凝らした展示は一見の価値があります。まずは、お近くの史料館・記念館に足を運んでみてください。意外な歴史に触れることができるかもしれません。

8 シリーズ第1回目は東千歳駐屯地（千歳市）内にある第7師団東千歳駐屯地史料館を御紹介します。



# 防衛施設歴史散歩

## ～第7師団東千歳駐屯地史料館を巡る～



史料館の外観

第7師団東千歳駐屯地史料館は、総敷地面積590万㎡と陸自最大の敷地面積を有する東千歳駐屯地内にある数々の建物の中でも、歴史を感じさせる異彩を放つ外観が目目を引く建物の一つです。当館は、米軍接收当時の昭和26年に米軍の士官用クラブとして建設され、米軍撤収後に移駐した第7師団の師団創隊10周年記念の目玉として昭和40年8月に開館しました。昨年11月には「より魅力のある史料館にしよう！」を合い言葉に、見学する側の視点を意識した創意工夫を凝らした全面リニューアルを行い、これまで以上に見所満載の魅力的な史料館になりました。

その中で特筆すべきものは、戦車射撃競技会や創立記念観閲式等を視聴できる映像視聴覚室と戦車博物館です。特に戦車博物館については、史料館全体のスペースの約2割を占める充実した展示内容となっており、戦車を主体とした陸上自衛隊唯一の機甲師団である第7師団を象徴しています。

圧巻は、戦時中の戦車の戦闘シーンを再現した3つの大型ジオラマです。隊員や一般のマニアの方が作成した戦車の精密さやリアル感には言うに及ばず、戦場となった場所、情景までもが実物と思えるほどの存在感を持って作り込まれています。中にはスマホを操作する軍人がいたり、ドラム缶でバーベキューを楽しむ風景があったりと、隠れキャラを入れる遊び心に顔もほころびます。戦車の歴史を物語る模型展示も充実し、日本、米国、英国、ドイツ等、現在、合計12カ国225台を展示しています。

他にも、1972年2月に開催された札幌冬季オリンピックで実際に使用された聖火トーチや旧日本軍の資料等多数の展示品を展示しています。

リニューアル後は来館者も大幅に増え、リニューアル後からの5ヶ月間で、家族連れ、小学生の団体、修学旅行生など約4,000名の方が訪れました。

案内していただいた館長の原曹長（当時）からは、「この機会に多くの皆様に御来館いただきたい」とのコメントが寄せられました。

※史料館への見学申込みは、  
第7師団広報・渉外班：電話0123-23-5131（内線2136、2245）



展示品最大のジオラマ  
（ノモンハンの戦い）



戦車の模型展示



札幌冬季オリンピックで  
使用された聖火トーチ

## 防衛施設所在の首長さんからのメッセージ



千歳市  
山口 幸太郎 市長

千歳市は、国立公園支笏湖や清流千歳川など豊かな自然環境を有するとともに、空港、鉄道、高速自動車道が密接に結びつく交通の要衝であり、生産、流通の拠点として発展を続ける人口約95,300人のまちです。

今年4月、市内の立地企業が、鶏卵の生産量全道一を誇る当市の新ご当地グルメとして「千歳バーガー」を開発しました。千歳産の鶏卵を使用した千歳バーガーを通して当市をPRするこの取組は、民間事業者の間で広がりを見せ、現在では11店舗で各店オリジナルの千歳バーガーを提供しております。当市ホームページなどで提供店舗をご確認の上、ぜひご賞味ください。

さて、市内にはわが国唯一の機甲師団である第7師団司令部や第1高射特科団本部が所在する東千歳駐屯地、北部方面隊直轄部隊である第1特科団本部が所在する北千歳駐屯地、北方空域防衛の最大拠点である航空自衛隊第2航空団などが所在する千歳基地があり、隊員、家族、OBを含めると約24,000人と人口の25%を占める、全国最大の自衛隊のまちであります。隊員や家族、OBの方々は地域社会活動への参加をはじめ、地域防災、スポーツ振興など、市の経済や社会、教育文化等に大きく貢献していただき、市にとってなくてはならない存在となっております。

市としても、平成24年11月に市内2駐屯地、1基地との間で「大規模災害時等における派遣隊員の留守家族支援に関する協定」を締結するなど、自衛隊が本来の業務に専念できるよう取り組んでいるところであり、今後も地域と自衛隊の良好な関係の象徴となるよう、共存共栄のまちづくりを進めていきたいと考えております。

また、道内全ての自治体が加入する「北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会」の会長としても、北海道における自衛隊の体制が維持、強化されるよう積極的に活動してまいります。



ご当地グルメ  
「千歳バーガー」

# 防衛施設と周辺地域との調和を図るために

## ～障害防止対策事業の紹介～

前号では特定防衛施設周辺整備調整交付金の事業について御紹介しましたが、今号では障害防止対策事業について御紹介します。

障害防止対策事業は、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第3条の規定に基づく施策であり、防衛省では地方公共団体等が自衛隊等の機甲車両その他重車両のひん繁な使用、射撃、爆撃その他火薬類の使用のひん繁な実施等により生ずる障害を防止・軽減するため、必要な工事を行うときは、その者に対し、その費用を補助しています。当局では、これまで障害防止対策事業として、演習場等からの降雨時の流出量の増加に対する「洪水対策」、土砂流出による被害に対する「土砂流出対策」、保水力が減退するための用水不足被害に対する「用水対策」の助成を行ってきています。

(詳細については、特別編集号「防衛北海道(平成26年3月発行)」に掲載しています。是非御覧下さい。

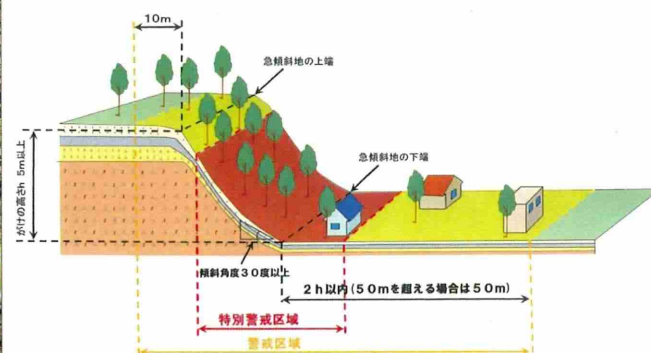
※北海道防衛局ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

ここでは、近年増加傾向にある土砂災害のうち急傾斜地の崩壊防止対策事業について御紹介します。

北海道千歳市に所在する北海道大演習場千歳地区施設内の南側急傾斜地の一部(千歳市北信濃及び千歳市大和3丁目)は、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき、土砂災害が発生するおそれがある区域として、平成18年9月(大和町3丁目及び北信濃の一部)及び平成22年3月(北信濃町)の2回にわたり「土砂災害警戒区域」及び「土砂災害特別警戒区域」に指定されました。

### 急傾斜地とは

がけの高さが5m以上、傾斜が30度以上の斜面のことを急傾斜地と呼びます。土砂災害防止法では、急傾斜地の崩壊により建築物の損壊が生じたり、住民等の生命又は身体に危害が生じる恐れがある区域を土砂災害警戒区域又は土砂災害特別警戒区域として都道府県が指定を行います。



このため、当局では地元からの要望等を踏まえ、土砂災害による建築物又は住民への被害を未然に防止するため、千歳市に事業を委託※し、平成22年度より対策事業を実施してきており、平成27年度末の完了に向けて、千歳市と調整しながら事業を進めているところです。

※ 本事業は、演習場内(国有地)に構造物を設置する工事となりますが、急傾斜地対策は、急傾斜地の状況を把握し、地元住民との連絡・調整、不測の事態への迅速な対応などができることが望ましいことから、その実態を最も把握している千歳市に委託して実施しているものです。

本事業実施にあたっては、生態系を乱さず、自然環境に配慮するため、樹木の伐採をせずに斜面を安定化することができる地山補強土工※を採用しています。

当局は、これら事業を進めることにより、地山の安定性を向上させ、急傾斜地の崩壊を未然防止するとともに、周辺住民の安全・安心な生活に貢献しています。

### 千歳市担当者からの一言

当該急傾斜地では、斜面全体に樹木があり、鳥類の生息をはじめとする自然環境に富んだ地域であることから、工法の検討を行い、最終的に樹木を伐採せずに施工でき、施工後も従来の自然環境・景観をそのまま残すことができる工法としました。

施工途中であります。対策が実施されることで住民の安全を確保することができ、大変感謝しております。



### ※ 地山補強土工

多数の鋼棒(補強材)を地山に挿入し安定地盤に定着させ不安定な地山を拘束して斜面の安定性を向上させる工法

● 自衛隊札幌地方協力本部 ～札幌地本ゆるキャラ紹介～

自衛隊札幌地方協力本部  
キャラクター

羊の『モコ』

『ゆるキャラグランプリ2014』エントリー中！投票10/20まで！



『モコ』は平成24年9月、デザイン・ネーミングとも公募により生まれました。翌25年4月には着ぐるみも完成し、本格的に活動を開始。

札幌地本管内の基地・駐屯地の創立記念行事や、艦艇広報、音楽演奏会などのほか、各地のお祭りやスポーツイベントにもモコモコお出かけして、子供からお年寄りまで、地域の皆様を笑顔にするとともに、自衛隊をゆる～く広報しています。

『モコ』のプロフィール

名前：モコ  
性別：女の子  
誕生日：9月18日  
身長：170cm  
体重：ひみつ  
出身地：さっぽろシティ  
性格：好奇心旺盛  
職業：札幌地本アイドル  
好きな食べ物：ソフトクリーム



帽子と蝶ネクタイのお色直して、陸・海・空3タイプの『モコ』に変身。このほか札幌地本各事務所の所在地にちなんだ「ご当地モコ」や、「季節のモコ」など、そのバリエーションはモコモコ増えています。



ウィンタースポーツに挑戦！

昨年は「ゆるキャラグランプリ2013」にエントリー。「企業・その他」の部で26位と健闘しました。もちろん今年もエントリー。皆さんからの投票で今年はさらに上位をめざします。札幌地本ホームページの「モコの部屋」には、モコの壁紙や歌など楽しいコンテンツを用意しています。

ぜひお越しください。

札幌地本

検索

<http://www.mod.go.jp/pc/sapporo/index.html>



戦車がマイカー!?



健康管理は万全!

札幌市内小学校に南極の氷贈呈

自衛隊札幌地方協力本部（本部長 岡本浩1等陸佐）は7月9日～24日にかけて、今年4月に砕氷艦（南極観測船）「しらせ」が持ち帰った南極の氷を3校（もみじの森小学校、常盤小学校、南月寒小学校）に贈呈しました。

24日は、南月寒小学校5、6年生220名に対し氷を贈呈し、南部地区隊長（築紫3等海佐）による南極の概要と南極の氷ができる過程の教育と「南極料理人」として、かつて南極観測隊にも参加したことのある西村淳氏による、砕氷艦「しらせ」の活動・南極の自然や動物など、クイズを交えわかりやすく楽しく授業を行いました。児童達は、数万年もの歳月をかけてできる氷の説明に驚き歓声をあげながら聞き入り、また、オーロラやペンギン、アザラシの写真には感激した様子で「すごくキレイ」「かわいい」などと感嘆の声をあげていました。



本部長による氷の贈呈（南月寒小）

待ちに待った体験の時間では、数万年の時の流れに思いを馳せながら氷に触れ、「つめたーい!」「プチプチ音がする!」と感激した様子で満面の笑みを浮かべ、普通の氷との違いを感じていました。

南極の氷贈呈式を通じ、児童たちは南極の自然や動物、南極観測隊の支援を海上自衛隊が行っていることなど南極にまつわる様々なことを学びました。

また、氷の贈呈には、海上自衛隊の帽子を被った札幌地方協力本部キャラクター羊の「モコ」も駆け付け、児童からは「かわいい～!」「モコちゃん!」と声をかけられるなど、絶大な人気がありました。



氷体験（もみじの森小）



平和を、仕事にする

# 平成26年度 自衛官等募集



防衛省・自衛隊  
MINISTRY OF DEFENSE

募集種目	自衛官候補生（男子）	高等工科学校生徒	
		推 薦	一 般
	陸上・海上・航空の基礎的教育訓練を受け「任期制自衛官」に任用され、職務を通じ技術や資格を取得します。希望により選抜試験を経て、曹や幹部へ昇進します。	高度な専門知識の取得と国際社会において自信を持って対応できる陸上自衛官を養成し、3学年卒業時には高等学校（通信制）の卒業資格を取得します。	
応募資格	18歳以上27歳未満の者	中学校等卒業（見込含む。） 17歳未満、成績優秀で学校長が推薦できる男子	中学校等卒業（見込含む。） 17歳未満の男子
受付期間	お近くの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。	11月1日（土）～12月5日（金）	11月1日（土）～27年1月9日（金）
試験期日	札幌：11月28日（金）～30日（日）「いずれか1日を指定」 函館：11月22日（土）及び23日（日）、12月13日（土）及び14日（日） 旭川：11月3日（月）及び4日（火）、11月16日（日）及び17日（月） 帯広：11月22日（土）及び23日（日）、12月13日（土）及び14日（日） ※採用予定数を採用した場合は、実施しない場合があります。	27年1月10日（土）～1月12日（月） ※いずれか1日が指定されます。	1次：27年1月24日（土） 2次：27年2月5日（木） ～2月8日（日）
合格発表	試験終了後に通知されます。	27年1月23日（金）	1次：27年1月30日（金） 最終：27年2月20日（金）

◆他の種目や詳しい内容は最寄の自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。



札幌地方協力本部  
011(631)5472



函館地方協力本部  
0138(53)6241



旭川地方協力本部  
0166(51)6060



帯広地方協力本部  
0155(23)2485

◆募集コールセンター

守ろうみんなの国



0120-063792

年中無休受付時間 12時～20時



自衛官募集ホームページ  
<http://www.mod.go.jp/gsdff/jieikanbosyu/>

自衛官募集 検索

自衛官募集携帯サイト



## 10～11月の道内自衛隊の主なイベント

開催日	開催場所	イベント名	お問い合わせ	
10月18日(土)	ニトリ文化ホール	北部方面隊音楽まつり	北部方面総監部広報室	011-511-7116
	襟裳分屯基地	襟裳分屯基地開庁60周年記念行事	襟裳分屯基地	01466-3-1136
11月21日(金)	札幌コンサートホール Kitara大ホール	第11音楽隊第40回定期演奏会	第11旅団司令部広報室	011-581-3191
11月29日(土)	足寄分屯地	足寄分屯地創設20周年記念行事	足寄分屯地	0156-25-5811

注：行事予定は都合により延期又は中止される場合がありますので、各部隊等へ御確認願います。

## 北海道防衛局からのお知らせ

### 平成26年度の発注見通しを公表しました

北海道防衛局は、平成26年度の工事及び業務の発注見通しを平成26年7月1日及び7月22日に当局ホームページに公表しております。入札参加を希望される方は御覧下さい。<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido>

### ～防衛省・自衛隊60周年記念ロゴマーク～

防衛省のロゴマークは、平成19年に防衛省への移行を記念して一般から公募して決定されたもので、緑の部分は26万人の隊員からなる防衛省を、青い球の部分は地球を表しており、日本の防衛と国際社会の平和のために積極的に行動する防衛省の仕事と隊員の気持ちを表しています。

今年度、防衛省・自衛隊が発足60周年を迎えることを記念して青い地球の部分に「60th」をあしらっています。



防衛省・自衛隊  
MINISTRY OF DEFENSE